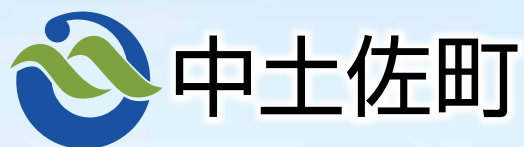


議会だより



No.68

令和5年2月27日発行

12月定例会
(9月定例会第2回臨時会議)

■12月定例会	
議案審議	2
一般質問（10人が町政を問う）	3
■9月定例会第2回臨時会議	16
■私は賛成・反対しました	17

町の事業者や生産者の商品を外に売り出す活動をしている飯島賢さん（P20参照）
さとし

12月定例会

案議 議審

令和4年12月定例会が7日に開会し、町長の行政報告、議案の提案理由説明、委員会の活動報告などが行われました。

13日と14日は一般質問（P3から関連記事）が行われ、10人の議員が町の課題を執行部に問いました。16日には議案の審議が行われ、町長提出の議案11件を可決し、散会しました。

12月定例会の会期は、12月7日から令和5年2月28日までの84日間です。

一般会計補正予算 （第8号）

「令和4年度中土佐町一般会計補正予算（第8号）について」は、3109万円を追加し、4877万円を減額するため、1768万円の減額となり、一般会計の歳入歳出予算の総額を78億29万円とするものだ。

主な追加予算は、ワクチン接種の受付業務委託料495万円、老朽住宅

などの除却補助金1645万円などで、主な減額予算は、一般職の職員の人件費などだ。

質疑では、1人の議員が計上された予算に対して、内容や理由などについて執行部に説明を求めた。

討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

旧役場庁舎解体 工事請負変更契約

「令和4年度旧中土佐町役場庁舎解体工事請負変更契約の締結について」

ては、旧役場庁舎の地中くい撤去や舗装撤去を別発注とするなどで2379万円減額し、変更後の契約額を5991万円にするものだ。

質疑では、3人の議員が別発注とする理由などについて執行部に説明を求めた。

討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

黒潮本陣大規模改修 工事請負変更契約

「黒潮本陣大規模改修工事請負変更契約の締結について」は、屋外海水タンクや本館温泉施設内ガラス部分の撤去・新設などで1036万円増額し、変更後の契約額を2億5206万円とするものだ。

質疑、討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

簡易宿泊施設の 条例改正

「中土佐町簡易宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について」は、「四万十源流の里」のバンガロー施設手前にある駐車場などに使用していた敷地を、新たに管理施設にするほか、キャンプの宿泊使用料を一区画1回当たり2千円に改定することに伴うものだ。

質疑では、1人の議員が金額の設定理由などについて執行部に説明を求めた。

討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。



建物解体後の旧役場庁舎跡地



4月にリニューアルオープンする黒潮本陣

10人の議員が一般質問



金子 裕之 ……P 4

- ふるさと納税を子育てや教育に
- 森林環境贈与税を活用した林道整備を



高橋 雄造 ……P 5

- 木材の活用でバイオマス発電所を
- 町の商品券事業の締め切りが早いのは



山本 建生 ……P 6

- 小鎌田浜の活用を
- 建設廃棄物の処理は



窪田 和教 ……P 7

- インボイスの影響と対応は
- 水源管理に人材配置を



下元 道夫 ……P 8

- 笹場川の堆積土砂除去と土砂流出対策は
- 農地被害の負担軽減を



下元 良之 ……P 9

- 天満宮キャンプ場の管理状況は
- 県道窪川船戸線の改良計画は



福永 守恭 ……P 10

- 学校の部活動の地域移行は
- 農家・農業者に対する調査は



濱田 和昭 ……P 11

- 出生数の受け止めは
- 専門職員の採用状況は



中野 大地 ……P 12

- 子育て応援事業のおむつ券増額は
- ヘルメット購入助成を保育園児にも



佐竹 敏彦 ……P 13

- 美術館のイメージはなじめない
- 太陽光発電推進への考えは

一般質問

町政を問う

12月13日と14日の2日間、一般質問が行われ、10人の議員が産業や防災対策、教育など、町の諸問題を取り上げました。

※一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長などに対し疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

※掲載する「一般質問」は、議員の責任で質問・答弁を750字以内にまとめたものです。

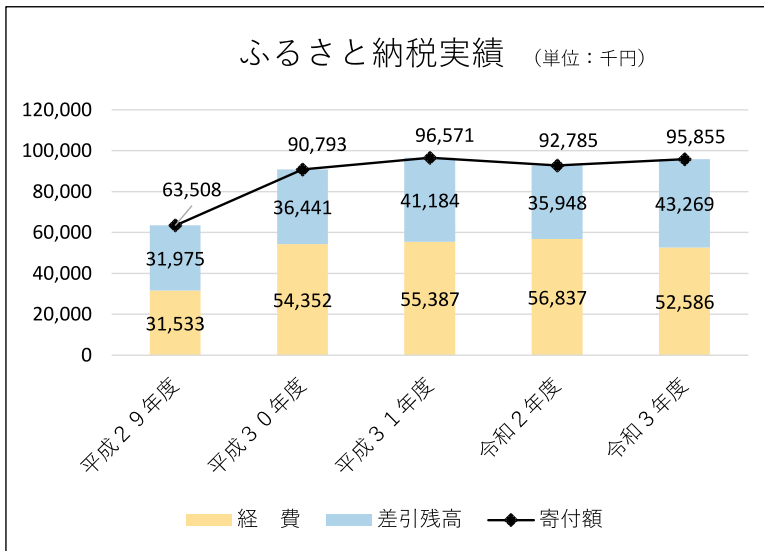


各議員のページにあるQRコードで、その議員のインターネット中継をご覧ください。ご覧になれる場合は、データ通信料の契約が定額制（使い放題）でない場合、高額請求される場合がありますのでご注意ください。



金子裕之

金子議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



ふるさと納税を 子育てや教育に

2億円の目標に近づける

問 ふるさと納税は近年9千万円台で推移しているが、経費を除いた残高は。

今橋まちづくり課長 20

21年度は寄付額が9585万円になっている。返礼品などの経費は5258万円、差し引き4327万円が残高になる。

問 ふるさと納税に力を入れて、増えた分を子育てや教育に充てる「目的税化」してはどうか。

池田町長 ふるさと納税は非常に魅力的な財源であり、多くの事業の財源となっている。来年度に計画している子育て支援の財源はクリアできるが、これから多くの財源を必要とする事業があるので、別の方法も模索しなければならぬ。目標の2億円に近づけていく。

森林環境譲与税を活用した林道整備を

事業体の林道整備に活用

問 森林環境譲与税の基金残高及び意向調査の結果は。

山崎農林水産課長 基金残高は4620万円だ。森林所有者の意向調査では、約73%が「森林の手入れを他の人に任せたい」と回答している。結果を踏まえ、今後の森林整備につなげたい。

問 昨年と今年の豪雨災害は、山の管理ができてい



木材搬出のための林道整備 (久礼・大坂地区)

進める取り組みは。

ないのが被害を大きくした要因でもある。減災の観点から譲与税を活用した計画的な林道整備が必要では。

山崎農林水産課長 減災や森林資源の有効活用のためにも林道整備は必要だが、町が整備するのではなく、事業体による林道整備を支援していく。

地元雇用を進める政策は

問 町内の事業者の維持、拡大のために地元雇用を

その他の質問

- ▼ 四十十テナガエビ支援事業
- ▼ こどもセンター運営事業
- ▼ 大野見北地区集落活動センター事業

木材の活用でバイオマス発電所を

用地を調査中だ

問 4月から電気料金が値上がりする。住民生活に直結することだが、国の補助対策以外に町としての対策が必要ではないか。

池田町長 コロナ交付金を活用し、全世帯に燃料券1万円分を配布する。独居、高齢者世帯、家族の多い世帯など厳しいものがあると思う。生活に困窮される方には、しっかりとサポートし、注意を払っていく。

問 安定した電力の供給維持は重要だが、バイオマス発電についてどのような認識を持っているか。

山崎農林水産課長 山林の価値を高め、森林整備や林業活性化の役割を担い、地域経済への波及効果が期待できるので、魅力を感じている。

問 再生エネルギーの地産地消を加速させ、近隣周辺と町にある木材を使用

し、発電施設をつくるための企業を誘致する計画はないか。

池田町長 関心を持っている企業があり、須崎地区森林組合と共に用地について継続した調査をしている。地域住民の理解が前提だが、意見を聞き、町としても努力していきたい。



愛媛県内子町のバイオマス発電所

町の商品券事業の締め切りが早いのは

今年度中の精算が必要だ

問 マイナンバーカードを12月までに取得できないとポイントが得られないのか。町の普及促進商品券は12月28日までにカードを取得していないと対象外とされる。理由は。

行う計画がある。利用者は用紙の記入が不要となり、マイナンバーカード取得のメリットにつながると考える。導入時には、カードの紛失対策も考慮したい。

黒石町民環境課長 マイナンバーカードは12月末までの申請で対象となる（当時）。商品券事業は、今年度の交付金を財源にしているため、年度内に精算する必要があるため、期限を設けている。

問 不公平感のないよう配慮し、利便性など詳しく説明してもらえないか。

池田町長 バスパス事業を利用し、県と共同で、全国に先駆けた実証実験を

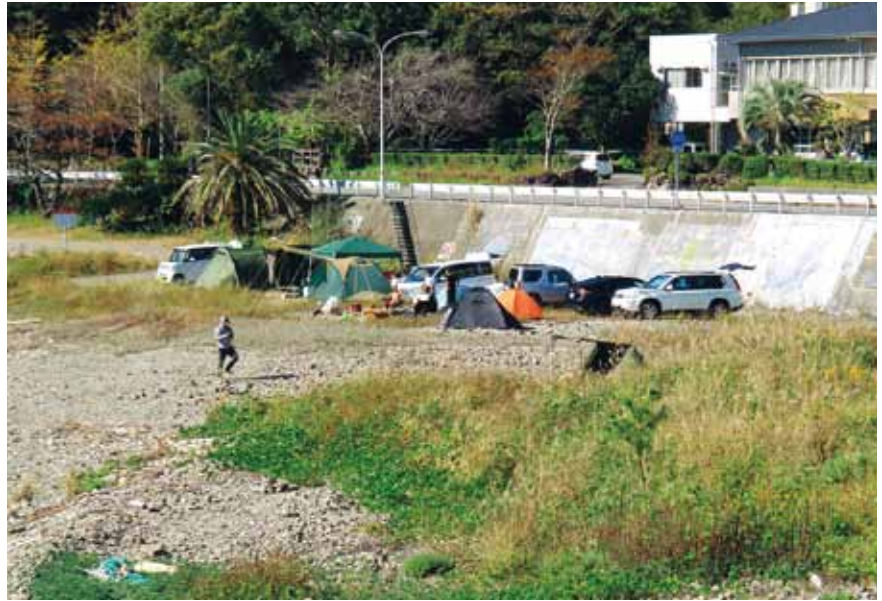


小鎌田浜の活用を

気持ちよく使える場所に



山本議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



一時的に西側が封鎖されていた小鎌田の浜

問 小鎌田浜の西側が11月中旬に封鎖された。現在は開いているがどのような経過があったか。

今橋まちづくり課長 10月中旬に須崎土木事務所が巡回中にドラム缶でたき火をした跡を見つけた。翌週にも同じような状況

が見られたので封鎖をしたが、12月初め解除した。

問 封鎖中に東側でキャンプをしている人に聞くと、「この場所はいいですよ。友達を誘った」とか「管理費を取ったら不法投棄などもなくなる」との話だったが。

今橋まちづくり課長 町は、「陣や」横のトイレを管理しているし、お客様の責任で利用していただきたい。マナーの悪いときには張り紙などで対応している。気持ちよく使える海岸であるよう働きかける。

問 小鎌田の浜に来た人が道の駅や大正町市場に行くし、ガソリンも入れる。浜の在り方を交流人口で考えることも必要だ。来た人に町でどういうふうに通じてもらうかが大事では。

今橋まちづくり課長 来ていただければ豊かな自然と人との触れ合いがある。そういった取り組みを進めていきたい。

建設廃棄物の処理は

ガイドラインに沿って処理

問 公共工事や災害時には土砂やヨシなどが出る。廃棄物の処理はどのようにしているか。

いる。

鍋嶋建設課長 公共事業では、工事契約や施工条件により廃棄物が適正に最終処分されているかは確認している。土砂以外の建設副産物の置き場は町内に無いのですべて町外に出している。

問 廃棄物の処理によって事業費の増減はあるか。

鍋嶋建設課長 工事発注後に産業廃棄物のサンプリング調査で処理方法や作業手順が変わり、事業費の増減がある事案は発生している。ガイドラインに沿った適正処理をして



その他の質問

▼ スポーツ文化センターを子どもに無料開放を
▼ 耕作放棄地



窪田議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから

インボイスの影響と 対応は

負担増が考えられる

問 インボイスで、これまで免税業者だった者が消費税の納税業者になる。

免税業者を選択すると取り引きから排除されることになりかねない。どのような影響があるか。

平田総務課長 町内に個人や家族で営業している方は多い。小規模な事業者が登録すると消費税を納めなくてはならないので、

問 農家が作物を道の駅に出す場合、購入者にインボイスを求められることがある。納税義務ができる」と生産意欲が減退するが。

今橋まちづくり課長 納入業者への聞き取りはできていないが、引き続き出店できるような形をとりたい。

問 シルバー人材センターの会員は個人事業主で、会員がインボイスを発行しなければ、センターが多額の納税を負う。会員が消費税を払うことになると、収入と労働意欲に関する問題になる。

辻本健康福祉課長 シルバー人材センターの全国事業協会から明確な方針が示されていないので検討を続けていく。センターならびに関係各課と連携して方針を考えたい。



地区の高台にある給水タンク。2*ほど離れた取水口からパイプで水を引き、一度タンクに蓄えて各家庭に送る
(大野見地区)

水源管理に 人材配置を

提案の方法も検討していく

問 簡易水道のない所は地区で管理する水道施設があるが、高齢で水源の管理が難しくなっている。取水口が小石で埋まったたりして水が来なくなったりした場合に、すぐに対応できる人材を町が確保して、対応することが必要だ。

黒石町民環境課長 県の補助金で地区に合った改修方法を進めたい。改修できない場合は提案の方法も検討していくことになる。

学校給食と保育料の 無償化

問 学校給食の無償化の質問通告を出していたが、町長の行政報告で「保育料や小中の給食の無償化」とあった。学校給食は所得制限や期限を設けない完全無償化と保育料の全額免除でよいのか。

岡村教育長 給食無償化は5年度から実施する。保育料も全額補助する。



おいしい学校給食 (大野見小学校)



下元議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



問 笹場川の土砂 浚渫と
土砂流出対策は。

鍋嶋建設課長 中流部約9
00mの区間を新年度当
初予算で浚渫工事を計画
している。2カ所の砂防



山が崩壊して大量の土砂が堆積した笹場川

笹場川の堆積土砂除去 と土砂流出対策は

5年度に実施を計画

問 下流部も越流している。
河川改修の調査・計画は。

ダムは県管理であるた
め、県と相談し、土砂撤
去に向け調整していきたい。石神の山腹の2カ所
の崩壊は、河道閉塞が懸
念される。地権者と協議
し、可能な対策を早急に
検討したい。

鍋嶋建設課長 河口部まで
約1kmの測量業務が完了
した。2月末頃には地域
の皆さんに計画をお示し
ができるよう進めている。
まずは地元の合意形成が
必要で、着工までには相
当の時間を要すると思え
ている。

問 大雨があるたびに土砂
の被害がある笹場の土居
から始まって4カ所の山
地の状況確認を。

山崎農林水産課長 当該箇
所は、須崎林業事務所と現
地確認を行い、県営事業と
して要望を行っている。優
先順位を定めながら、工事
が進むことになる。

農地被害の負担軽減を

現状の自己負担10%で

問 線状降水帯や大型台風
など、局地的甚大な農地
被害の復旧工事は地権者
負担を10%から3%に引
き下げの検討を。

山崎農林水産課長 近隣の
3市町に問い合わせたと
ころ、本町の対応は手厚
い支援でありご理解いた
だきたい。

池田町長 農地をしつかり
と保全しながら、耕作放



土砂で満杯となり砂防ダムの役割が厳しくなっている（笹場川上流）

棄地の問題、自然災害に
対しても、ビジョンをも
って取り組まなくてはな
らないと痛感している。

鰹乃國の存続を

問 「昔々この町は鰹乃
國、土佐の一本釣りの町
だった」となったら大変

だ。5年先、10年先も鰹
乃國と胸を張れる町であ
るための取り組みを。

山崎農林水産課長 水産業
振興は町の地域振興の中
心だ。漁業者への支援を
行い、鰹乃國の存続に努
めたい。



天満宮キャンプ場の管理状況は

適切に対応している



オンライ
ON LINE

下元議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから



夏の天満宮前キャンプ場（大野見奈路）

問 奈路天満宮前キャンプ場の利用者は、

今橋まこと 課長 4月

から10月までで1503人となっている。

問 盛況だと思いがトラブルとか苦情はないか。

今橋まこと 課長 現在のところ特にはない。

問 管理棟のテラスの床が腐って抜け落ちているが対策は。

今橋まこと 課長 構造を検討して新年度で改修したい。

問 夏場には容量オーバー気味だと思いが、久万秋沈下橋周辺を整備して愛好家を誘致してはどうか。

今橋まこと 課長 現在のキャンプ場を適正に管理をしていく中で、状況を見ながら検討していきたい。

問 あゆ種苗センターの空き地を活用することで災害時の車中泊避難区域にすることもできるのでは。

池田町長 増水時の不安があるので難しい。

県道窪川船戸線の改良計画は

着手中の整備事業以外はない

問 県道窪川船戸線はまだ改良が必要だと思う。中でも雨量による交通規制が発生する野老野峠について改良工事の情報は。

車線・歩道付き道路の要望もある。

鍋嶋建設課長 大股、神母野、久万秋の3工区は緊急輸送道路区間として着工しているが、新たな情報はない。

問 2車線で歩道付きの道路を時間をかけて造るより、1・5車線道路を迅速に整備するほうが良かったのではないか。

池田町長 県が1・5車線整備という県道改良工事をやってきたこともあるが、一方で標準仕様の2



完成が待たれる神母野工区（大野見神母野）

フェスティバル土佐ふるさとまつり

問 フェスティバル土佐ふるさとまつりの出店料が高いこともあって町は出店していない。観光PRや地場産品の販路拡大につなげるために出店を支援したかどうか。

池田町長 担当課を含めて検討していきたい。

学校の部活動の地域移行は

教育委員会や関係者で協議



福永議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



小中学生が一緒にサッカーの練習(久礼中学校)

問 文部科学省は令和5年以降、学校の休日の部活動を段階的に地域クラブ活動に移行する考えだ。中学校での取り組みは。

者で協議会を設置し、ヒアリングを通じてニーズや課題を把握し、部活動の地域移行への合意形成を図っていく。

岡村教育長 国は令和5年から3年間で改革集中期間とし、可能な限り早期の実現を目指している。本町は教育委員会と関係

問 全ての部活動に指導者を置くのは困難だと思ふ。いくつか絞って指導者を構えて移行する考えか。

岡村教育長 地域で指導できる人がおれば活用させていただきたいが、指導できる人は働き盛りの方が多く、放課後に来てくれるのはなかなか難しい。田舎ほど難しい状況もあり指導者とか競技については検討したい。

問 部活動の大会が日曜日になると思うが、地域へ移行となると学校の行事ではなく、地域の大会参加となる。保護者は心配しないか。

岡村教育長 学校の先生とは関係なく地域の指導者が大会にも連れて行くようになると思うが、移行過程では学校の先生が完全に手放すことは難しいと思う。

農家・農業者に対する調査は

アンケートや個別訪問を行う

問 高齢化や後継者不足で、遊休農地や耕作放棄地が増えている。農業政策を進めていく上で農家や農業者の現状や将来の考えを調査し、今後の指針とするべきだ。

福原農林水産課長補佐 「人・農地プラン」は「地域計画」と名称を変え、10年後の目標を作成することになっている。

農業委員会が主体で、アンケートや個別訪問で課題を共有し、将来方針を決定する予定だ。

黒潮本陣納入業者のインボイス登録は

問 黒潮本陣へ食材などを



今橋まちづくり課長 黒潮本陣の仕入れ業者は100を超えるが、ほとんどインボイス登録業者になる見込みだ。今後、個々の業者との確認作業が必要と認識している。

出生数の受け止めは

施策を充実していく

問 令和4年4月から11月末の出生数は12人だが、どのように考えているのか。

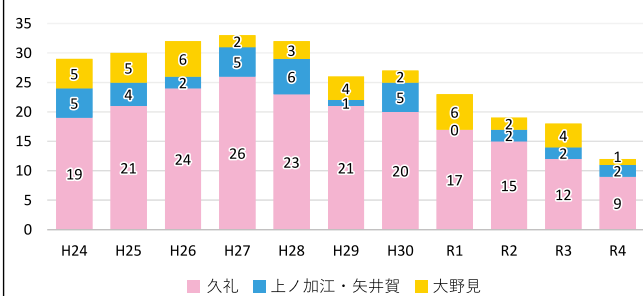
問 出生数は想定できたか。これまでの施策の自己評価は。

池田町長 人口減少については愕然としている。とりわけ若年人口がここまですなくなることは正直考えてなかった。医療費の

無償化や保育料の第2子半額などいろいろな施策を先駆的に取り組んだが、他の自治体より減少しているのは、明らかに子育てに対する支援策が十分でなかった。

問 町の重要課題の1つとして今後どのような対策をす

地区別出生数



※出生者数は毎年度4月～翌年3月末日まで。R4は4月～12月末日現在。

専門職員の採用状況は

専門職員の確保は不可欠だ

美術館工事の技術支援は県の建設技術公社に支援をいただいている。

辻本健康福祉課長 今後の事業展開を計画するに当たっては専門職の確保は不可欠である。計画的な採用に向けて総務課とも協議を行っていきたい。

その他の質問

▼お宮さん通り駐車場

問 今年度の専門職の採用状況は

平田総務課長 保健師を若干名募集したが、応募はなかった。保健師以外は募集をしていない。

問 保健師以外の専門職員は必要ないか。

池田町長 建築士については、町内出身で建築事務所を退職した人に有償で問題に対応してもらおう。



濱田和昭



濱田議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから



健やかな成長を願う(令和4年に生まれた町内の新生児)

池田町長 全職員に子育てに対するプランを提案してもらった。令和5年度は、保育料無償化、小学校給食費無償化、入学祝金など経済的な支援を行う。おむつ助成金や通学補助も増額・充実させる。「未来・夢基金」などを活用し、中土佐町で子どもを生みたいと思える政策をしたい。



中野議員の録画映像は
こちらから▶▶▶



問物価高に伴いおむつやおしり拭きも値上がりしている。子育て世帯の負担軽減のために、おむつ券の増額と、おしり拭き

子育て応援事業のおむつ券増額は

新年度から2万円を増額

の購入にも使えるようにできないか。

辻本健康福祉課長 現在、2歳まで上限8万円だが、

5年度から2万円の増額を考えている。助成額の増額に合わせて、品目の拡大も検討していく。



現在配布されているおむつ券

ヘルメット購入助成を 保育園児にも

保護者の要望があれば検討する

問小学校に上がる前から自転車に乗る子も多い。安全のためヘルメットは必須だが、ヘルメット購入助成事業の範囲を保育園児まで広げることとはできないか。

岡村教育長 ヘルメットの着用は自転車の安全性向上、交通安全の意識向上に大変有効だ。保護者からの要望が多ければ、補

防災士を増やすための 取り組みや支援は

問地域防災力の向上のために防災士の育成が必要だ。防災士を増やす取り組みと、資格を取るための支援は。

助対象を就学前の幼児まで広げること検討していく。



子どもたちに人気のキックバイク

平田総務課長 これまでの補助に加え、若い防災リーダーの育成のために令和5年度から中学校と連携し、中学生の防災士資格の取得を推進し、受験会場への送迎など資格取得に向けた支援を検討していく。

その他の質問

▼婚活イベントは



佐竹議員の録画映像は
◀◀◀ こちらから

美術館のイメージはなじめない

和のイメージで進める

問 美術館は、今年度基本設計、来年度実施設計、令和6年度竣工との説明であった。



岡村教育長 お見込みの通りだ。完成直後は化学物質や水分の枯らし期間が必要で、その期間を経た後、収蔵品搬入、開館となる。

問 町ホームページにイメージ図が載っている。近代的イメージでなじめない。今の美術館をアレンジした外観であってほしい。

池田町長 あくまでプロポの時点の外観で、それか



現在の美術館と黒潮本陣

ら大きく外れることはないが、最終的には、基本設計で十分に変わっていく。全体的なイメージは和のイメージで、議論しながら進める。

太陽光発電推進への考えは

課題がある

問 太陽光発電パネルにはカドミウムなど重金属の大変有害なものが含まれているが、どこに埋めるか。

域経済活性化、地産地消といった持続可能な開発目標、いわゆるSDGsのモデルともなる。

池田町長 電力調達の一つの手段だが、全国に見られるソーラーパネルはあまりにも無秩序であり、不安の念をぬぐいえない。

池田町長 内子町の例は素晴らしい。約2キロワットのコンパクトな施設で、町にも十分立地の可能性があり、整備へのお手伝いしたい。

問 設置場所も森をわざわざ伐採、県議会でも質問された。太陽光発電推進への考えは。

南部男爵の記念事業を

池田町長 国土が狭隘で、山林の多い日本では課題がある。

問 町の電源確保は木質バイオマス発電が有効だ。内子町のように、森林資源活用で、雇用促進や地

問 来年は大野見の誇る南部甕男男爵没後100周年だ。南部男爵は、幕末に坂本龍馬と同じ土佐勤王党に加入して脱藩し活躍した。後に現在の最高裁長官に当たる大審院長になった。地元で顕彰しようという動きがある。記念事業を行うべきだ。



急斜面などに整備されている太陽光発電施設

岡村教育長 没後100周年イベントの具体的な話があれば、内容も含め検討したい。

その他の質問

- ▶ 山内地区の備蓄倉庫 兼避難所
- ▶ デジタル化の取り組み
- ▶ こころの教育、宗教教育

委員会活動報告

12月定例会の初日、総務教育・産業建設民生・予算決算の各常任委員長から、委員会の活動報告がありました。

総務教育常任委員会

地域ぐるみの防災対策

黒潮町を視察

黒潮町の津波防災を視察した。県公表の最大クラスの南海トラフ地震想定では、震度7で、津波は2分で到達し国内最高34メートルが示された。2300人が亡くなるシミュレーションがあり、あまりの予測に逃げるのを諦める「避難放棄」を生む結果となった。そこから「揺れたら逃げる。犠牲者ゼロ」を目指す取り組みを始めた。

全職員が地域担当を持ち、地域に入ること地震・津波対策は劇的に進んだ。ハードでは避難タワーを6基、避難道や避

難場所を整備した。京都大学が作った「逃げトレ」



黒潮町佐賀の避難タワーを視察する総務教育常任委員

を使って、大方高校や佐賀中学校の生徒が地域で訓練を始めた。避難時の非常食となる缶詰製作所を立ち上げ雇用を生み出している。
ソフトでは浸水域の全世帯の個別避難カルテを作成し防災計画を進めた。また、防災シンポを開き、自主防や大学の先生、中高生らが参加している。視察結果を町の取り組みに生かす。

産業建設民生常任委員会

道路網の整備に力を

県道改良事業を調査

県道窪川船戸線の大野見地区3カ所の改良工事を調査した。

久万秋工区の工事費は16億8千万円で令和1年後半の完成を目指す。仮称1号橋（久万秋側）は令和5年に工事を始める予定で、施工中の仮称2号橋（荒瀬側）は令和5年に完成予定だ。2つの橋をつなぐ盛土部は架橋工事の進捗に応じて進める。工事に伴う町道、農道の破損箇所の補修工事は発注済みとなっている。

神母野工区の工事費は12億7千9百万円で、令和5年度完成予定だ。

大股工区の工事費は8億円で、完成時期は未定だが早期の完成を目指す。2つの橋とその間を盛土で造る。現在、津野町側にボックスカルバートを施工中で、令和5年に四

万十町側の用地買収と架橋の詳細設計を行う。

工事に関して、住民への周知徹底を図るとともに、道路網の整備に力を入れるよう求めた。



④大野見地区の県道改良事業を調査する産業建設民生常任委員⑤仮称2号橋の橋げたの設置作業（久万秋工区）



特定の企業に限らない 補助金交付の制度化を 菱高精機の移転支援策を調査



移転支援策を調査する予算決算常任委員

10月21日、菱高精機の大野見ミットヨ跡への移転に係る支援策を調査した。

菱高精機がミットヨの敷地を購入し、町は支援する形で進める。15年以上の事業継続を条件とし、用地購入費や機械類の移転費用を補助し、上限を1億円とする方向で検討

中だ。特定の企業だけでなく、補助金交付の制度化について検討するよう求めた。

11月25日、令和3年度の食鳥処理施設整備計画ならびに過疎地域持続的発展計画の目標達成状況を調査した。

七面鳥生産組合の年間売上および商品出荷先数は、目標を達成しているが、生産羽数は未達成だ。

今後、生産者を増やす努力が必要との意見があった。

人口目標では、人口及び転出者は未達成で、転入者のみ達成だった。

令和3年度の財政力目標は、町債残高137億円で実質公債費比率11・0だったのに対し、実績は137億円、11・7であった。

保育料・小中学校給食費を無償化

池田町長の行政報告

●令和5年度の予算編成方針

第3次総合振興計画に掲げる「目指すまちの姿」の実現に向け、少子高齢化・人口減少問題や南海トラフ地震対策、地場産業の振興など、喫緊の課題に取り組む。とりわけ、子どもの減少は危機的状況であり、少子化対策、移住・定住対策を推進する。具体的には、保育料や小中学校給食費の無償化などを行う。



12月定例会で行政報告をする池田町長

●新型コロナウイルス感染状況とワクチン接種

コロナ感染症の広がりが身近で感じられる一年だった。対策には、ワクチン接種の推進が重要課題だ。11月末の接種率は、12歳以上で4回目接種済みの方が73.9%、65歳以上に限ると86.6%となっている。

●物価高騰対策

原油価格や電気・ガス料金などの物価高騰に直面する方を支援する事業を行う。今回は、均等割りのみの課税世帯と児童手当受給者世帯にそれぞれ一世帯当たり3万円の給付を行う。そして、全世帯を対象に1万円の燃料券を配布する。

●マイナンバーカードの申請状況

11月末で申請率は78.45%、交付率が60.15%となっており、県内34市町村の中で、申請率は4位、交付率は9位となっている。

原油価格の高騰や コロナ対策で燃料券 全世帯に1万円分を配布

令和4年 中土佐町議会9月定例会

第2回臨時会議

議案審議

11月25日、令和4年9月定例会第2回臨時会議が行われました。町長提出の一般会計補正予算など議案6件を可決し、散会しました。

一般会計補正予算 (第7号)

「令和4年度中土佐町一般会計補正予算(第7号)について」は、6012万円を追加し、一般会計の歳入歳出予算の総額を78億1797万円とするものだ。

主な予算は、原油価格の高騰やコロナ対策として、ガソリンやLPガスの利用料金と引き換えができる生活支援燃料券1万円分を全世帯に配布する事業費3633万円、住民税均等割のみ課税世帯を対象に3万円を給付する生活支援給付金900万円などだ。

質疑では、1人の議員が、生活支援給付金について、今回の対象世帯以

外の世帯への支給も今後考えていくのかなど、執行部に説明を求めた。討論はなく、採決の結果、全会一致で可決された。

財産の取得

「財産の取得について(令和4年度全身用X線CT装置整備事業)」は、中澤氏家薬業(株)と1859万円で随意契約するものだ。装置は大野見診療所に整備される。質疑、討論はなく採決の結果、全会一致で可決された。



今号では、平成31年2月21日に行われた大野見北地区振興会と議員の出張懇談会で出された「県道から寺野入り口の1・5車線化と下ル川・萩中方面を示す看板設置を」の要望を追跡しました(議会だよりNo.53P3参照)。



道幅が広がり通行しやすくなった町道寺野線(大野見寺野)

その後の対応

県道窪川船戸線の寺野橋南側から寺野方面に行く町道は入り口が狭いうえに、高低があり急カーブになっていた。改良工事は令和2年度に予算化され、県道入り口から120mの区間を幅7mに広げる工事が令和4年11月末に完成しました。案内看板が設置され、スムーズな通行が行われるようになっていきます。

私は、賛成 反対 しました。

○…賛成 ●…反対 /…議長は賛否同数のときや特別多数議決のときに賛否を表明します

《9月定例会（第2回臨時会議）の主な議案と議員の賛否》

議 員 名	窪田 和教	岡 伊三男	下 元 良之	高 橋 雄造	金子 裕之	濱 田 和昭	下 元 道夫	山 本 建生	中 野 大地	佐 竹 敏彦	福 永 守恭	中 城 重則	可 否
審議した議案等													
条例の一部改正													
一般職の職員の給与に関する条例改正 ※人事院勧告に準じ、改正するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算													
一般会計（第7号） ※6012万円を増額するもの（※P16参照）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険特別会計（第2号） ※6万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険特別会計（第2号） ※18万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
簡易水道事業会計（第2号） ※水道事業費用を7万円増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他（※P16参照）													
財産の取得（令和4年度全身用X線CT装置整備事業） ※中澤氏家業株式会社と1859万円で契約するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

《12月定例会（通常会議）の主な議案と議員の賛否》

条例の一部改正													
簡易宿泊施設の設置管理条例改正 ※キャンプでの宿泊使用料等を改定するもの（※P2参照）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
「鯉乃國の湯宿 黒潮本陣」・「黒潮体験創造の館」・「コテージ」設置管理条例改正 ※入浴料金の上限を100円引き上げるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
特定公共賃貸住宅の設置管理条例改正 ※上位法施行規則の改正に対応するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険事業財政調整基金条例改正 ※国民健康保険事業の都道府県単位化を視野に改めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
契約（※P2参照）													
旧中土佐町役場庁舎解体工事請負変更契約の締結 ※契約内容の変更に伴い、2379万円減額し、5991万円で契約するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
黒潮本陣大規模改修工事請負変更契約の締結 ※契約内容の変更に伴い、1036万円増額し、2億5206万円で契約するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
補正予算													
一般会計（第8号） ※1768万円を減額するもの（※P2参照）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険特別会計（第3号） ※89万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
農業集落排水事業特別会計（第2号） ※50万円を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
簡易水道事業会計（第3号） ※水道事業費用を3万円、資本金収入を193万円、資本金支出を803万円増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他													
指定管理者の指定（上ノ加江診療所） ※医療法人高松会を指定管理者とするもの（現在の指定管理者「クリニック土佐久礼」の高松医師が医療法人として運営するもの）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

A 私たちは、こんなことをしています。

《各議員の出欠状況（令和4年10月1日～12月）》

日 付 ・ 会 議 等		窪田和教	岡伊三男	下元良之	高橋雄造	金子裕之	濱田和昭	下元道夫	山本建生	中野大地	佐竹敏彦	福永守恭	中城重則
10月4日	議会広報広聴常任委員会	○	△	○	○	○	○	△	△	○	△	△	△
10月13日	議会広報広聴常任委員会	○	△	○	○	○	○	△	△	○	△	△	△
10月20日	令和4年度トップセミナー（県民文化ホール）	○	△	△	○	△	△	○	△	△	○	○	○
10月21日	議会運営委員会	○	△	△	○	△	△	○	△	△	○	○	△
	9月定例会（第1回臨時会議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月1日	総務教育常任委員会（黒潮町）	△	△	○	△	△	○	○	○	△	○	○	△
11月21日	産業建設民生常任委員会	○	○	△	○	○	△	△	△	○	△	△	公
11月25日	議会運営委員会	○	△	△	○	△	△	○	△	△	○	○	△
	9月定例会（第2回臨時会議）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月28日	議員行政実務研修	△	○	○	△	○	○	△	△	○	△	△	△
12月2日	徳島県神山町議会視察受入	○	△	○	○	○	○	△	△	○	△	○	公
12月5日	議会運営委員会	○	△	△	○	△	△	○	△	△	○	○	△
12月7日	12月定例会（通常会議）＜1日目＞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報広聴常任委員会	○	△	○	○	○	△	△	△	○	△	△	△
12月13日	12月定例会（通常会議）＜2日目＞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月14日	12月定例会（通常会議）＜3日目＞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月16日	12月定例会（通常会議）＜4日目＞	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務教育常任委員会	△	△	○	△	△	○	○	○	△	○	○	△
12月27日	議会広報広聴常任委員会	○	△	○	○	○	○	△	△	○	△	△	△

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみを掲載しています。

○・・・出席 ●・・・欠席 △・・・一部欠席 公・・・他の公務による欠席 /・・・所属委員等でない



本町がサテライト会場となった議員行政実務研修(11月28日)

徳島県神山町議会の 皆さんが本町を視察



神山町議会の皆さんが本町の議会広報広聴常任委員と意見交換をされました。(12月2日)

Q 議員は何をしゅうが？

《議長的主要活動状況（令和4年10月～12月）》

●10月

- 3日 高幡消防組合議会第156回臨時会（須崎市／総合保健福祉センター）
- 5日 中土佐町戦没者追悼式
県会長 こうち人づくり広域連合との打ち合わせ
- 7日 **県会長** 後期高齢者医療広域連合との打ち合わせ
- 8日 **県会長** 高知県町村議会議長会正副会長会・理事会（高知市／自治会館）
県会長 県選出国議員と町村長・町村議会議長との意見交換会
- 18日 **県会長** 町村議会の制度・運営に関する検討委員会
県会長 全国町村議会議長会正副会長会
県会長 全国町村議会議長会理事会
県会長 全国町村議会議長会都道府県会長会（東京／全国町村議員会館）
- 26日 **県会長** 第41回こうち人づくり広域連合議会定例会
県会長 後期高齢者医療広域連合議会第37回定例会（高知市／自治会館）

●11月

- 1日 高知県戦没者追悼式（高知市／県民文化ホール）
- 8日 **県会長** 県選出国議員と町村議会議長との意見交換会
県会長 自由民主党との懇談会（東京／自由民主党本部）
- 9日 **県会長** 第66回町村議会議長全国大会（東京／NHKホール）
県会長 全国町村議会議長会要請活動（東京／合同庁舎・首相官邸）
 第16回高幡町村議会議長会県外研修懇親会
- 10日 第16回高幡町村議会議長会県外研修（埼玉県寄居町）
- 11日 **県会長** 住民の負託にこたえ、活力ある地方議会を目指す全国大会
県会長 地方議会活性化シンポジウム2022（東京／イイノホール）
 第74回関東高知県人大懇親会（東京／東武ホテルレバント東京）
- 15日 **県会長** 全国過疎地域連盟第54回総会（東京／日本教育会館）
県会長 全国過疎地域連盟に係る要請活動（東京／衆参議員会館・総務省）
県会長 全国過疎地域連盟に係る過疎対策関係国会議員との懇談会
- 21日 **県会長** 土佐之塔慰霊祭（沖縄県八重瀬町）
- 22日 **県会長** 後期高齢者医療広域連合監査（高知市／高知県保健衛生総合庁舎）
県会長 こうち人づくり広域連合監査
- 30日 高幡東部清掃組合議会臨時会【議長・議選組合委員】
 津野山養護老人ホーム組合議会定例会
 高陵特別養護老人ホーム組合議会定例会
 高幡消防組合議会定例会
 高幡広域市町村圏事務組合議会定例会（須崎市／総合保健福祉センター）

●12月

- 1日 **県会長** 全国町村議会議長会理事会（東京／全国町村議員会館）
県会長 全国町村議会議長会役員懇親会（東京／ダイヤモンドホテル）
- 2日 **県会長** 高知県町村議会議長会正副会長会
 高知県町村議会議長会理事会（高知市／自治会館）
 高知県町村議会議長会理事会懇親会（高知市／高知会館）
 徳島県神山町議会視察受入【副議長】
- 9日 入魂式：中土佐消防団中央分団小型ポンプ付軽四積載車（久礼八幡宮）
- 27日 **県会長** 令和4年度四国四県町村長・議長大会要望活動（高知市／高知県庁）



自由民主党との懇談会で意見交換を行う中城議長
（11月8日）



第66回町村議会議長全国大会での中城議長のあいさつ
（11月9日）



松野博一内閣官房長官へ要請を行う全国町村議会議長会役員
（11月9日）



埼玉県寄居町で議会広報の視察を行う高幡町村議会議長
（11月10日）



多様な人材の参画に向けて総務省が主催した「地方議会活性化シンポジウム2022」
（11月11日）

※ **県会長** は、高知県町村議会議長会 会長（一部、全国町村議会議長会 副会長）として出席した公務です。

(今号の表紙)



今年度の「議会だより」の表紙写真のテーマは「地域おこし協力隊活動中」です。第4回は久礼地区を取り上げます。

商工会で活動している飯島賢さんです。

1 ご出身は。

A 静岡県熱海市です。

2 地域おこし協力隊になった動機は。

A 商品の外商や地域ブランド支援など地域活性化に携わる仕事がしたいと思っていました。東京で行われた移住フェアに参加して中土佐町のことを知り、現地で直接お話しできたことで地域おこし協力隊になることを決めました。

3

活動の内容は。

町の事業者や生産者の商品を外に売り出す活動をしています。事業者や商品の情報発信やプロモーション、イベントの開催など多岐にわたっています。商談会や営業などに活用できるよう事業者や生産者を紹介するパンフレット制作なども行っています。

4

中土佐町の魅力は。

食材のレベルの高さはとても魅力的だと思います。自然が多く海や山、川など風景が四季によって見え方が変わることもすてきです。



写真は本人提供のものです

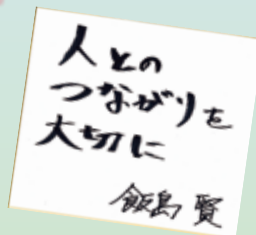
卒業生からの ひと言

約半年間の活動でしたが、大正町市場の人たちに支えられて、今の自分があります。飯島君も地域の人と協力して、頑張っていたきたいです。



工藤圭司さん

久礼大正町市場で串焼きボン吉を経営。鰹のハランボをメインで販売しています。県内外問わず、久礼の鰹のハランボの認知度を上げている。



熱海市職員を退職して、奥さんと2人で中土佐町に来て、昨年7月には男の子が誕生しました。いろいろなことにチャレンジをして頑張っています。

金子 裕之



「ドーハの歓喜」。2022年最高の出来事は、サッカーワールドカップカタール大会で日本がベスト16入りしたことではないか。なんと、言っても、1次リーグE組で、W杯を制した実績のある強豪ドイツとスペインに逆転勝ちし、1位で突破。初めて2大会連続で決勝トーナメントに進み、サムライブルーの活躍に日本中が歓喜の渦に沸いた。残念ながら、1回戦で前回準優勝のクロアチアに激闘の末惜敗し、初の8強入りを逃した。それでも、日本が世界と互角に渡り合えるという新しい景色を見せてくれた。中土佐町の未来を託された、私たち議会もワゴンチームとなって、新しい景色を見に行こう。

中野 大地

中土佐町議会広報広聴常任委員会

委員長	窪田 和教
副委員長	下元 良之
委員	高橋 雄造
委員	金子 裕之
委員	濱田 和昭
委員	中野 大地